

## 会社のここが自慢!

### 社員同士の仲が良く、相談しやすい

当社の営業担当は、農機の販売だけでなく、現場で修理や整備なども行うため、幅広い知識やスキルが求められます。そのため、社員同士の情報交換は必須。分からないことや困ったことがあれば、上司や同僚に相談しながら、修理技術の向上や知識の習得に励んでいます。



取材時も、社員同士で気軽に声をかけ合って談笑している様子が見られ、雰囲気の良い職場が伝わってきました。

### 社員のスキルアップを万全にサポート!

農機の修理・整備を行うには、溶接技能者資格や農業機械整備技能士などさまざまな免許や資格が必要になります。新入社員はまず、トラクターなどを運転するために必要な大型特殊免許の取得からスタート。社員のスキルに合わせて、必要な資格や免許が取得できるように管理部門がバックアップしています。

## 主な事業をご紹介します



### 農機の修理・整備を通じて生産コストの低減をサポート

農機の専門知識をもつ担当者がお客様の元へ足を運び、修理や整備を行います。大型の機械や複雑で時間がかかる修理は、自社の整備センターで整備専門の整備士が対応。どんな故障やトラブルにも常に対応できる環境をととのえています。



### 農機や農業資材の販売を通じて農作業の効率化に寄与

農機の販売は事業の柱の一つ。生産者のニーズに合わせて、さまざまな農機や農業資材の提案販売を行っています。また、農機の展示会や実演会なども実施し、生産者とコミュニケーションを図りながら、農機に関する最新情報を発信しています。



LEFT

三次事業センター  
なかたのりまさ  
中田秀正さん

営業として農機の販売・修理を行う。果樹の栽培が盛んな三次地区を担当。好きな食べ物は米。

RIGHT

三和事業センター 次長  
いちがわこうき  
市川昂紀さん

営業として農機の販売・修理を行う。担当エリアは米の生産農家が多い三和地区。好きな食べ物は米。

整備センターが隣接する本社前で、最新のトラクターと。

[ 県内にある拠点は5カ所 ]



- ①本社・整備センター
- ②三次事業センター
- ③三和事業センター
- ④世羅事業センター
- ⑤三原事業センター

CHECK!

### 全農アグリサポート広島ってこんな会社

全農アグリサポート広島は、農業機械（以下「農機」）専門会社として2000年に設立されました。農機を通じて、農作業の効率化、生産コストの低減を図ることを目的に事業を展開。生産者に向けて多様な農機の提案販売などを行っています。近年は、生産者の課題に応じたサポート事業にも力を入れ、営農を多角的に支えています。



地域に密着した事業を展開しています!

もっと知りたい!  
一緒に働く仲間たちのこと

グループ  
会社訪問

株式会社全農  
アグリサポート広島

多種多様な会社がある全農グループ。このコーナーでは、さまざまなグループ会社を訪問し、お仕事や自社の魅力についてご紹介いただきます。今回は農業機械の販売のほか、さまざまなサポート事業を展開する株式会社全農アグリサポート広島を訪問しました。

農機の販売・修理を  
軸に、生産者を  
サポートしています！

## 農機の販売・修理業務って

## こんな仕事！

営業担当として、日々生産者を支える市川さんと中田さん。  
販売だけでなく、修理・整備までマルチにこなす農機の営  
業とは、どんな仕事なのか——。普段の業務の様子を見せ  
ていただきました！

### 修理業務



### 販売業務



## 02 三次事業センター 中田秀正さん

お客様からの問い合わせや相談は、農作業が盛んになる春と秋に集中します。また機械の故障は突然起こることが多く、繁忙期は訪問日程や修理の段取りなどの調整に苦心することもあります。できるだけお客様を待たせないように、日々迅速な対応を心掛けています。最近では、農作業の閑散期に農機の整備をすることをお客様に提案し、機械のコンディションを事前にととのえておく働きかけも積極的に行っています。農機の販売や修理・整備をトータルでサポートすることで、繁忙期の故障の防止やお客様の生産コストの低減につなげています。



日頃から先輩や同僚と情報共有しながら、修理技術を磨いているそう。写真右は、中田さん使用の工具類。

## 01 三和事業センター 市川昂紀さん

農機の提案販売をするだけでなく、農機が故障した場合は、お客様の元へ駆けつけ、修理対応をすることも営業担当の大事な業務です。中には「明日から雨だから今日作業したい」というケースも多く、小型の機械などは営業担当が現場で修理をすることも。営業担当も修理のスキルを身につけ、お客様から信頼してもらうことで、機械の販売や更新時に説得力のある提案ができるようになって感じています。さらに今後は、スマート農業にかかせないICTを活用した最新農機の知識も深め、幅広い提案を積極的に行っていけたらと思っています。



営業担当には、お客様からの問い合わせが続々と寄せられます。事業所では相談に来たお客様の接客をすることも。

操作も簡単！



コントローラーを操作しながら、遠隔で草刈り作業ができる優れたもの。ハイパワーでどんな斜面でも対応可能。

### POINT

中山間地域の多い広島県は、畦畔や斜面の草刈り作業が重労働に。リモート操作ができる機械は高いニーズがあります。



### ラジコン草刈機

コントローラーによるリモート操作で機械を動かし、平地だけでなく斜面の草も刈ることができ、作業効率も大幅アップ！



### POINT

GPSによる直進アシスト機能で、経験の浅いオペレーターでもまっすぐな走行が可能に。作業時間も短縮できます！



### 直進アシスト田植機

直進アシスト機能によりハンドルを自動制御し、設定された経路を自動走行して田植え作業を行います。



### COLUMN

## 農機のプロー押しの すごい農機はコレ

農業における労働力不足は深刻な課題で、農機が担う役割は今後ますます大きくなります。今回は、生産者の課題や悩みを解決する、おすすめの農機をご紹介します！

社員が語る

## 全農アグリサポート広島の未来

最後は、全農アグリサポート広島のこれからのフォーカス。「こういう会社でありたい」というビジョンを営業課課長の滝野口さんに語っていただきました。

農機を通じて、生産者をサポートし、  
広島県の第一次産業を支えていきます！

私たちは、農機を通じて生産者をサポートしていくことはもちろん、現在取り組んでいるサポート事業をさらに深化させ、農業生産の基盤である担い手不足の支援や労働力軽減などに貢献していくことも大事な使命だと感じています。そのためにも、生産者が抱えている課題やニーズを的確にキャッチすることが大切になります。お客様のご要望をお聞きするだけでなく、困っていることなどがあれば、各営業担当が一番の相談窓口となるように、お客様との信頼関係を構築し、ニーズに合わせたサービスを展開していけたらと思っています。

また、近年は農業の分野でもICT技術を搭載した最新の農機が続々と登場しています。これまでは知識や経験が不可欠だった農機のアオペレーションも、ICT技術の進化により、経験が浅

くても使いこなすことができるようになっていきます。特に規模の大きな農業法人などでは、どんな方でも使える高性能な農機のニーズが高まっていると感じています。私たちが開催する展示会や実演会を通して、こうした情報発信を行い、県内の第一次産業を盛りたてていきたいですね。

そして、当社には人材確保策として、社員紹介制度（従業員から友人・知人を採用候補として紹介してもらう制度）があります。社員には「自社を紹介したい」と思ってもらいたいですし、ここで働いていると胸を張って自慢できる会社になりたいと思っています。そのためにも、職場環境をととのえ、社員のモチベーション向上に努めながら、常に事業計画を達成できる組織を目指します。

営業部 営業課 課長  
たきのくちこういち  
**滝野口浩一さん**

農機の販売管理、農作業の受託事業、県内JAの整備機受注窓口など業務は多岐にわたる。好きな食べ物は寿司。



一番の相談窓口として、  
生産者に寄り添います

### 最後に

会社を案内してくれた市川さんと中田さんに取材を終えた感想を聞いてみると……

「農機の役割や私たちの日々の業務が、皆さんに伝わったらうれしいです。農機のご相談はぜひ当社へ！」（市川さん）  
「今回あらためて、営業担当の仕事について振り返ってみると、業務の中で心掛けていることなど、市川さんと共通している部分も多く、事業所は別々でも普段から社員が皆同じ気持ちをもって、業務にあたっていることを肌で感じることができました！」（中田さん）



## 全農アグリサポート広島 の特徴&サービス

農機の販売・修理のほかに、生産者のサポート事業にも力を入れ、さまざまなサービスを提供する全農アグリサポート広島の取り組みをご紹介します！

### 労働力軽減への貢献

#### 防除請負・草刈り支援

広島県でも農業の人手不足は深刻な課題です。また、山あいには棚田や樹園地などが広がる中山間地域も多く、草刈りや防除（農薬散布）作業は平地にある圃場（ほじょう）に比べて過酷な労働です。そこで、草刈り作業や防除作業の受託サービスを提供し、生産者の労働力の軽減に寄与しています。今後は稲刈り作業など、さらにサービスの幅を広げていく予定です。



（上写真）無人ヘリコプターを使って農薬散布を行う様子。短時間で広域の防除が可能に。（右写真）ラジコン草刈機（P. 29参照）を活用することで、斜面の草刈り作業もスピーディーに行えます。



生産者の高齢化が進む中、  
労働力軽減への取り組みは  
必須です！



### 生産コスト低減に寄与

#### レンタル農機の運用

農機を活用することで作業効率が高まる一方、ネックとなるのが農機の購入費や維持費などです。特に使用する時期や回数が限定される収穫機などのコストは、大きな負担となることも。そこで当社が所有する農機を運用し、レンタルサービスをスタート。枝豆収穫機などの大型機械を生産者に貸し出すことで、生産コストの低減をサポートしています。

### 中古農機マッチングシステム「Re:Boon」の活用を推進

さらに生産コスト低減の一環として、JA全農広島県本部が開発した中古農機マッチングシステム「Re:Boon」を活用した中古農機の提案販売を行っています。農機の相談窓口である当社には、離農のため農機を売りたい方、農機の買い替えを検討している方などさまざまなお客様がいらっしゃいます。そのような方々をつなげ、双方のニーズに応えられる売買を実現するためにも、「Re:Boon」のご案内や推進などを積極的に行っています。

